

シグマ研究委員会光核反応データWG 1991年度第1回会合議事録

日時： 1991年6月25日(火) 13:30 - 17:45

場所： 原研本部 No. 5 会議室

出席者： 浅見、五十嵐、井口、岸田、北沢、千葉、肥田、村田

欠席者： 井頭、喜多尾、小林

議事：

1. 評価関連事項

- (a) 村田委員より、QDM理論を用いて計算した¹⁶Oの光中性子スペクトルについての紹介がなされた。
- (b) 千葉委員より、ALICEの閾値の問題は予想通り対補正オプションに起因していたとの報告がなされた。
- (c) 千葉委員より、ALICE-Fのポストプログラム群についての解説がなされた。これらのプログラムを使用すると、ALICE-Fの出力をENDF-6フォーマットに変換できるので、ALICE-Fを光核反応計算用に改良すれば、理論評価の進展が期待できるとの指摘がなされた。
- (d) 千葉委員および肥田委員より、ALICEは原因不明の理由により高エネルギー領域での計算が行えないとの報告があった。
- (e) 岸田委員より、QMEとBRデータの不一致についての論文の紹介がなされた。その著者によれば、BRデータの方が信頼できるそうなので、データ選択基準を変更する必要があるかもしれない。
- (f) 浅見委員より、1976年から1990年の間の光核反応文献データ・ベースの作成が完了したので、文献リストが入用な人は、リクエストして欲しいとのアナウンスがあった。
- (g) 岸田委員より、NEA DATA BANKに登録されている光核反応データリストの紹介がなされた。データのコピーが核データセンターにあるので、データが入用な人は、リクエストして欲しいとのアナウンスがあった。

2. 評価中間報告

- (a) 井口(²⁰⁸Pb)、五十嵐(²⁰⁹Bi)、肥田(^{235,238}U)の各委員より光核反応断面積の評価状況、問題点と今後の評価方針が報告された。

3. その他

- (a) 岸田委員より、モスクワ大学の光核反応データセンターからの協力希望の手紙の紹介がなされた。協力を進める事に異存はないが、日本独自のファイルを作成する方針に変更はないことを確認した。
- (b) 岸田委員より、モスクワ大学の光核反応データセンターと米国の NNDCとの協力協定の紹介がなされた。

4. 次回予定

- (a) 次回は平成3年10月31日(木)に原研本部で開催予定。
- (b) 主な内容は、
 - i. 各委員より実験データ評価の結果報告及び理論評価中間報告。
 - ii. 千葉委員より光核反応断面積ファイル構造の紹介。
 - iii. 岸田委員より PICA コードを用いた光核反応断面積の計算例の紹介。
 - iv. 井口委員より Varlamov の論文の解説。

配布資料：

- PNWG-91-1 : ANALYSIS OF O-16 PHOTO-REACTION CROSS SECTION (村田)
- PNWG-91-2 : The Investigation of the Reactions for Discrepancies in Results of Photonuclear Experiments at the Beams of Bremsstrahlung and Quasimonoenergetic Gamma-Quanta.
- PNWG-91-3 : Reaction lists for Photonuclear reactions obtained from NEA DATA BANK.
- PNWG-91-4 : ALICE/85 と EXPHOTO の立ち上がりの差について、等 (千葉)
- PNWG-91-5 : Pb 光核反応断面積の評価現況 (井口)
- PNWG-91-6 : $^{209}\text{Bi}(\gamma, \text{xn})$ Cross Section (五十嵐)
- PNWG-91-7 : ALICE による ^{235}U , $^{238}\text{U}(\gamma, \text{x})$ 反応断面積の試算 (肥田)
- PNWG-91-8 : ENDF-6 Format (浅見)
- PNWG-91-9 : 1976 to 1990 Index for Photonuclear Reaction Data (浅見)
- PNWG-91-10 : A letter from Dr. Varlamov
- PNWG-91-11 : Photonuclear Data Cooperation Project between CDFE and NNDC